広告　企画・制作／読売新聞社ビジネス局・マナビジョンブック編集部

大学SELECTION
PRODUCED BY YOMIURI SHIMBUN
読売新聞とマナビジョンブックが独自の視点で大学の魅力や特長を紹介するシリーズ企画です

つなぐ知　かなえる技

大阪電気通信大学
Osaka Electro-Communication University

最新設備のキャンパスに新学部！　建築・デザイン学部が誕生

文系・理系の垣根を越えて 建築とデザインが学べる2つの専攻

大阪府の寝屋川と四條畷に2つのキャンパスを有する大阪電気通信大学。2022年3月には寝屋川キャンパスの「OECUイノベーションスクエア」が完工された。その新棟を学びの拠点とする新しい学部が、24年4月誕生する。この「建築・デザイン学部」は、文系・理系の垣根を越え、総合的な建築とデザインの学びの場となる予定だ。今回は「OECUイノベーションスクエア」の設計、施工に携わった、竹中工務店の清水弘之常務執行役員をゲストに招き、上善恒雄学部長（就任予定）と新学部に対する展望、期待を語った。

大阪電気通信大学
建築・デザイン学部
上善　恒雄 学部長（就任予定）

じょうぜん・つねお／京都大学大学院工学研究科数理工学専攻修了。大阪大学大学院にて学位取得（博士〈工学〉）。松下電器産業（現：パナソニック）、阪急電鉄で実務に携わる。2004年から大阪電気通信大学総合情報学部、および大学院総合情報学研究科の教授に着任。メディアコミュニケーションセンター長も務める。

株式会社竹中工務店
常務執行役員
清水　弘之 氏

しみず・ひろゆき／大阪大学大学院工学研究科環境工学修士課程。故・笹田剛史先生に師事。一級建築士・専攻建築士。他社ソフトウェアとの連携も可能な「OPEN BIM」の推進など、建設業界のデジタル化を最前線でリードし続けてきた人物。2022年3月より常務執行役員に就任。

建設の現場で必要とされるデジタリゼーション

清水　建設業界におけるデジタル化は、各社が懸命に取り組んでいるのですが、まだ始まったばかりの状態です。建設会社のみならず、協力会社や職人さんたちがその恩恵を受けなければ、建設業全体がデジタル化されたということにはなりません。

上善　電子技術、情報技術はあらゆる分野で人類の道具として活用されています。今の時代はスマホや、ネットが当然の環境なのに、建設業界でデジタル化が進まないのは不思議な話ですね。

清水　OPEN BIM（Building Information Modeling）という考え方を中心に置いて、どんなソフトウェアでも使える枠組みを作ろうとしています。現場で働く方々にもデジタルデータを使って協業でき、クライアントにも、出来上がった建物を使う人にも喜ばれる、ウィンウィンの関係性を構築することが狙いです。ただ、新卒者についても、建築の分野でデジタル教育はあまりなされていないというのが現状で、新しいソフトウェアや便利な道具が登場しても、それに対応しての連携が進まないことで、頭を悩ませています。

上善　「デジタルが当たり前」という環境で、建築を学んでほしいと思っています。建築に役立つ技術の最先端を教えるというより、コンピューターを使って仕事をするという常識を持ってもらうことです。少なくともツールを使えるという段階までの教育は、敷居が高くないと考えています。

清水　新学部には従来の建築教育に加えて、今の時代に求められている技術を融合させ、新しい解決方法を導くような人たちを育てていただけることを期待しております。

自由な発想、創造力が求められる デジタルを用いた建設業界

清水　建物を建てるとなると、非常に多くの人間が関わってきますので、チームワークが必要で、ある程度最低限でのルールを守っての仕事が求められます。一方で、創造的な領域の仕事を考えると、ある意味、ルールを超えていろいろと自由な発想ができる人材も重要です。

上善　今の時代、建物をテーマにして研究しているなかで、その知識を生かしてゲーム会社に行きたいと考えてもよし、そのまま建築の世界に足を踏み出してもよし、様々な業界に進路を定めてもいいと考えています。資源の少ない日本では、人材というのが柱になります。物事を大局的に考えられ、あらゆる技術を習得できる人間が理想的で、その場所で自分のやるべきことを実行できる人間を育てていきたいと思っています。

清水　大型の案件に取り組みたいと思う人は確かに多いですが、希望者全員を希望通りに配置することはできません。英語ができる人が重宝される場合もあり、プロジェクトごとの特殊なニーズに合ったスキルが重宝されることもあります。大型の案件はその情報のボリュームもすごいですし、それを効率的に活用しながら仕事をしなければいけません。デジタル系に強い、明るい人材が、これから必要不可欠な人間になっていくと思います。

上善　本学では建築にも生かせる様々な最新機器を使って自分の作りたいものを突き詰めていくことができます。電子、情報関係のいろいろな技術に大学時代から触れられることは、学生にとって大きなメリットではないでしょうか。

文系・理系の垣根をなくす 新しい「建築・デザイン」の世界

清水　デジタル系の職能の方が現場で増えていく傾向にあって、文系・理系の垣根を取り払うことは非常に重要なことだと思っています。

上善　同感です。建築やまちづくりに文系・理系は関係ありません。

昨年竣工した「OECUイノベーションスクエア」

清水　欧米では建築学という学問はどちらにも属さない、独自のジャンルです。そこで学んだ方々が自分好みの興味に沿って、ファッション系に進んだり、工業デザインに携わったり、建築家になったり……。日本の建築に対する学問は「建築工学」からスタートしていて、理系である工学部建築学科が主流です。我々の共通の師である故・笹田先生は、「学際的」という言葉で学問の領域をまたがって研究することを旨としていました。この考え方が新しい学部に期待するところです。

上善　建築という分野は本学が持ついろいろな技術をつなぐ、社会との接点のハブ（拠点）だと思っています。この学部がハブとなって様々な技術を適用していく。さらに社会で必要とされているものを別の学部・学科と共同して研究を進めていく。ICTに強いという本学の特徴も含めて、学部として大きく成長していきたいと考えています。

文系科目での入試も実施 入学後に数学・物理を基礎から学べる

建築の学びは工学系というイメージが強く、理系の分野と考えられがちだ。本学で新たに生まれる建築・デザイン学部は、学生一人ひとりが得意な力を伸ばせる、かつ総合的な「建築・デジタル」の知識・応用力を持った人材に育つことを主眼として、文理を問わず門戸を大きく広げている。

国語と外国語のみで受験可能！	文系科目入試
入学後、数学・物理のフォロー体制が充実！	スタディラボ
少人数単位で、きめ細かいサポート！	グループ担任制

基礎から学修をサポートする環境が整う

入試では国語と外国語のみで受験が可能な「文系型入試」を用意（文系型入試は医療健康科学部・総合情報学部でも受験可能）。数学と理科を受験することなく、選抜を受けられる。

一級・二級建築士の国家試験受験資格取得に向けては数学や物理の知識が必要だが、授業で基礎からしっかり修得できるカリキュラムがある。また、学修支援を行う教員が常駐する「スタディラボ」を設置。数学や物理の基礎的なこと、授業での不明点などの個別指導が受けられ、資格取得に向けた十分なサポート体制が整えられている。

さらにはクラス単位ではない、10名程度の少人数に一人ずつ担当教員が配置される「グループ担任制」も活用。目標が固まった研究室への配属までの間、学生生活全般におけるきめ細かいサポートが展開される。

文理を問わない入試科目、そして理系科目の学びへの確実なフォロー。安心して学べ、学生の未来への可能性を広げる環境を、建築・デザイン学部は用意している。

OPEN CAMPUS 2023 事前申込制

7/16sun
Ⅰ部 10:00～14:00
Ⅱ部 14:30～18:00
- 大学紹介　●入試説明会
- 学科・専攻紹介＆体験イベント
- キャンパスツアー／施設見学
- 個別相談会

8/19sat
Ⅰ部 10:00～14:00
Ⅱ部 14:30～18:00
- 大学紹介
- 在学生によるトークLIVE
- 学科・専攻紹介＆体験イベント
- キャンパスツアー／施設見学
- 個別相談会

9/10sun
Ⅰ部 9:30～13:00
Ⅱ部 14:30～18:00
- 大学紹介・入試説明会 ※Ⅰ部のみ
- 入試問題解説（英語／数学） ※Ⅰ部のみ
- 保護者のための進学説明会 ※Ⅰ部のみ
- 学科・専攻紹介＆体験イベント ※Ⅱ部のみ
- 個別相談会 ※Ⅰ部／Ⅱ部

予約制
申込フォームからご予約ください
オープンキャンパス特設サイトはこちら

キャンパスウォッチング
大学の魅力を動画で紹介 ウェブサイトをチェック！
大学SELECTION　検索

寝屋川キャンパス
- ■工学部　電気電子工学科／電子機械工学科／機械工学科／基礎理工学科［数理科学専攻*1／環境化学専攻*1］
- ■情報通信工学部　情報工学科／通信工学科
- ■建築・デザイン学部*2　建築・デザイン学科*2［建築専攻*2／空間デザイン専攻*2］

*1 2024年4月組織変更　*2 2024年4月開設

四條畷キャンパス
- ■医療健康科学部　医療科学科／理学療法学科／健康スポーツ科学科
- ■総合情報学部　デジタルゲーム学科／ゲーム＆メディア学科／情報学科

（入試課）〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8
TEL.072-813-7374
E-mail：nyushi@osakac.ac.jp
https://www.osakac.ac.jp/